

## 第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 会場設営等業務に関する覚書（案）

第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会準備委員会（以下「甲」という。）と〇〇〇〇〇〇〇〇（以下「乙」という。）とは、第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会（以下「大会」という。）における会場設営等に係る業務について、次のとおり覚書を締結する。

### （目的）

第1条 この覚書は、別紙1に掲げる大会開催に伴う会場設営等に係る業務（以下「業務」という。）を効率的かつ円滑に実施し、大会の運営に資することを目的とする。

### （業務の履行期間）

第2条 この業務の履行期間は、覚書締結の日から業務が完了する日までとする。なお、令和7年度に甲が解散し、第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が設置された場合、その権利業務は実行委員会が引き継ぐものとする。

2 乙は、甲と協議しながら業務を履行するものとし、その遂行に当たっては、甲は乙に必要な指示をすることができるものとする。

### （大会実施に関する部署の設置）

第3条 乙は、組織内に業務に係る責任者及び専任の担当者を配置し、甲の指示事項に即応できる体制を整えるものとする。

2 乙は、責任者及び担当者について甲に報告するものとする。

### （費用の負担等）

第4条 業務遂行に係る経費は、原則として甲は負担しない。

2 委託料額及び支払いの時期は、令和7年度に甲が解散し、実行委員会の設置後に締結される委託契約書に記載されるものとする。

3 委託契約書を締結するまでにこの業務に要した費用は、当該委託料の額に含まれるものとする。

### （業務の報告）

第5条 甲は、この業務の処理状況について、乙に必要な報告を求めることができる。

### （責任の所在）

第6条 乙がこの業務を実施するに当たり、第三者に損害を与えた場合、甲はその責めを負わないものとする。ただし、甲の責めに帰すべき事由による場合はこの限りでない。

### （大会の中止）

第7条 大会が天災地変その他やむを得ない事由により中止となった場合、本覚書締結により生じる乙の権利は、将来に向かって消滅する。ただし、乙は、大会の中止以前に乙が果たすべきであった業務については完了しなければな

らない。

2 前項の場合、乙が提供した役務に要した費用について、甲は、負担すべき額を乙と協議して定め、乙に支払うものとする。

(業務の実施不可能)

第8条 乙は、事故等の発生により営業停止処分等を受けるなど、業務を実施することができなくなった場合は、代行者の確保を行うなど、業務に支障が生じないようにしなければならない。

(秘密の保持等)

第9条 乙は、この業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

2 乙は別紙2「個人情報取扱特記事項」を遵守するものとする。

(その他)

第10条 この覚書に定めのない事項又はこの覚書に関し疑義が生じたときは、この覚書の趣旨を踏まえ、誠意を持って甲乙協議するものとする。

以上のとおり覚書の締結を証するため、この証書2通を作成し、甲と乙が記名・押印をし、各自その1通を所持する。

令和7年 月 日

甲 茨城県水戸市笠原町978番6  
第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会  
準備委員会委員長 高橋 清 印

乙 (住所)  
(業者名 代表者名)

## 別紙 1

### 会場設営等に係る業務内容

- 1 看板等の作成及び会場設営（看板等は提案するデザインを適宜使用）
  - （1）会場案内  
会場前立看板、会場誘導看板等の作成・設置・撤収
  - （2）受付  
受付ブース及び表示板の作成・設置・撤収（総合案内、一般受付、来賓・主催者・分科会関係者受付、当日受付、クローク）
  - （3）全体会  
ア 入口看板、座席案内等の作成・設置・撤収  
イ ステージ上の準備（看板、懸垂幕、旗、飾り花、座席、前垂れ、スクリーン、音響、パソコン等）  
ウ 座席（案内表示、来賓等座席札の作成・設置）
  - （4）分科会（分科会打合会、8分科会、発表者等控室）  
ア 会場入口看板、会場内誘導看板、受付表示、各分科会会場表示等の作成設置  
イ 会場設営（受付、音響、座席等）  
ウ 発表者・指導助言者席の準備（白布、前垂れ、音響、パソコン等）
  - （5）来賓等控室  
ア 入口看板  
イ 胸花の準備
  - （6）企業出展ブース  
ア 会場看板、案内看板等  
イ ブースの設置
  - （7）展示コーナー  
ア 会場看板、案内看板等  
イ パネルの設置
- 2 大会の運営及び機器の管理等
  - （1）全体会  
ア 全体会司会者の派遣（1名）  
イ スクリーン、パソコン、プロジェクター、音響、照明、録音、記録用写真等の運用・管理・機器操作、専門スタッフの配置
  - （2）分科会打合会  
音響機器・パソコンの準備及び設置
  - （3）分科会（8分科会）  
ア スクリーン、パソコン、プロジェクター、音響、録音機器の準備及び設置  
イ 主要2会場への専門スタッフの配置（管理・機器操作）

ウ 会場の片づけ及び作成消耗品の撤去・処分

3 受付、企業出展ブース等の計画及び対応

- (1) 企業出展ブースの計画及び出展業者の対応等（出展企業へ搬入・撤去の指示）
- (2) 展示コーナーのパネル配置計画及び設置
- (3) 茨城県学校給食会及び茨城県学校栄養士協議会との連絡調整

4 消耗品等の準備

- (1) 胸花（赤・白・ピンク）

5 その他

委託内容の詳細については、別添資料（会場設営等業務委託内容詳細見積書様式）を参照のこと

## 個人情報取扱特記事項

### （基本的事項）

第1 乙は、この委託業務（以下「業務」という。）を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう個人情報を適正に取り扱わなければならない。

### （秘密の保持）

第2 乙は、業務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても、同様とする。

### （収集の制限）

第3 乙は、業務を行うために個人情報を収集するときは、当該業務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

### （目的外利用・提供の禁止）

第4 乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、業務に関して知り得た個人情報をこの契約の目的以外に利用し、又は第三者に提供してはならない。

### （適正管理）

第5 乙は、業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

### （従事者への周知及び監督）

第6 乙は、業務に従事している者（以下「従事者」という。）に対し、在職中及び退職後において、業務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないことを周知するとともに、業務を処理するために取り扱う個人情報の安全管理が図られるよう、従事者に対して必要かつ適切な監督を行わなければならない。

### （個人情報の持ち出しの禁止）

第7 乙は、甲の指示又は承諾を得た場合を除き、個人情報が記録された資料等をこの契約に定める実施場所その他甲が定める場所の外に持ち出してはならない。

### （複写・複製の禁止）

第8 乙は、甲の承諾があるときを除き、業務を行うために甲から引き渡された個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

### （業務の再委託）

第9 乙は、甲の承諾を得て業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は請け負わせること（以下「再委託等」という。）をする場合には、再委託等の相手方にこの契約に基づく個人情報の取扱いに関する一切の義務を遵守させるとともに、再委託等の相手方との契約内容にかかわらず、甲に対して再委託

等の相手方による個人情報の処理に関する責任を負うものとする。

第10 乙は、甲の承諾を得て再委託等をする場合には、委託する業務における個人情報の適正な取扱いを確保するため、再委託等の相手方に対し適切な管理及び監督をするとともに、甲から求められたときは、その管理及び監督の状況を報告しなければならない。

（資料等の返還等）

第11 乙は、業務を行うために甲から提供を受け、又は自らが収集した個人情報が記録された資料等をこの契約の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

（取扱状況の報告及び調査）

第12 甲は、必要があると認めるときは、業務を処理するために取り扱う個人情報の取扱状況を受注者に報告させ、又は随時、実地に調査することができる。

（事故発生時における報告等）

第13 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

（損害賠償）

第14 業務の処理に関し、個人情報の取扱いにより発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）のために生じた経費は、受注者が負担するものとする。